

か る た で しもつけ再発見

『下野市ふるさとかるた』
今月は「た」です

蔓巻公園は、県道栃木二宮線の姿川に架かる宮前橋の北側で姿川西岸ある南北に長い公園です。

公園の周りにはのどかな田園風景が広がり、公園中央にある築山からは周囲を360度見渡せます。北方に男体山、東方に筑波山、西方に太平山、運が良ければ南方に遠く富士山を望めます。

築山から景色を眺めながら滑り下りる大きな滑り台は、何度も滑りたくありません。

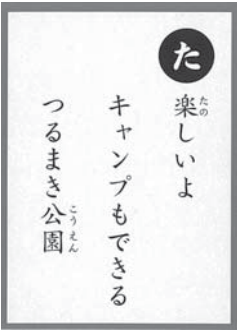
また、公園内にはオートキャンプ場があり、休日にはバーベキューやキャンプ



を楽しむグループや家族連れで賑わっています。

遊歩道も整備されていますので、姿川のせせらぎ聞きながらの散歩やサイクリングを楽しむこともできます。

蔓巻公園で家族や友人との夏の思い出づくりをしてみませんか。



男女共同参画社会

ポジティブアクション①

個々の会社において、固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から、「営業職に女性が少ない」「課長以上の管理職の大半を男性が占めている。」等、従業員の男女間に格差が生じていることがあります。

これらを解消するために会社が行う自主的で積極的な取り組みのことを「ポジティブ・アクション」といいます。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成51・6%、反対45・1%（平成24年10月実施内閣府世論調査）

調査結果からは、依然として固定的性別役割分担意識に關しての偏見が根深くあり、個人の能力・努力によらない格差があることは否定できません。

職場において、従業員の一人ひとりが性別に関係なく、生き生きと働ける環境をつくることは、企業を成長させることや活力になるほか、少子高齢化や人口減少などの課題の解決にもつながります。今月からはポジティブ・アクションについてシリーズで掲載します。

問い合わせ先

総合政策課 ☎(40) 5550

まずは相談

失明のおそれも…
カラーコンタクトレンズの使用は慎重に！

失明のおそれも… カラーコンタクトレンズの使用は慎重に！

カラーコンタクトレンズには、レンズの品質が原因で透明なコンタクトレンズよりも眼障害を起こしやすいものがあることが分かりました。

カラーコンタクトレンズを使用する場合には、リスクを十分に理解した上で、必ず眼科を受診し眼科医の処方に従ったレンズを選択するようにしましょう！

目に異常を感じた場合には、直ちに使用をやめ、眼科を受診することが重要です。また、レンズの装着時間や使用期限を守ったり、レンズケアを正しく行うことも大切です。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル(44) 4883
国分寺庁舎2階
生活安全課内

相談日時 月/金曜日
(祝日・年末年始を除く)
午前9時～午後5時
(正午～午後1時を除く)

※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ
☎028(625)2227

わかるかな？

まちがいがし

2枚の写真には違っているところ3つあります。見つけてみてください。(印刷の汚れは除く。)

※答えは47ページ

仁良川の里保全会
「アジサイ祭り」の様子▶

